



銀杏 《 愛校 自主自律 》

～生徒一人一人が主役を果たす、「生徒が育つ学校」の創造～

宮内中学校 学校だより

授業参観・学年学級懇談会・PTA 評議員会・部保護者会総会 お忙しい中、お集まりをいただき、ありがとうございました

今年度も、残すところ後わずかとなりました。そのような中、2月24日（金）に標記の会を開催することができました。コロナも落ち着きを見せ始め、ようやく保護者の皆様にも、生徒の活躍の様子をご覧いただける状況になり、少しホッとしたところです。

今回は、各学年での学習（授業）となりましたが、たくさんの保護者の方々に参観いただき、大変うれしく思いました。1年生は「進路学習」として、これからの進路実現に向けて学びを深めました。2年生は「意思固めの会」として、自分の想いを漢字一文字に込めながら堂々と発表を行いました。3年生は「金融学習」として、お金にまつわる大切な学びができました。クレジットカードを持つ機会がこれから増えることも踏まえて、生徒にも大人にも勉強になるお話を聞かせていただきました。

その他、懇談会・諸会議等、お忙しい中、誠にありがとうございました。



【2年生】
色紙を手にして、素敵な発表をしてくれました。

【1年生】
クイズ形式で、高校入試の概要を勉強しました。

【3年生】
いつの時代もお金は大事。それをどのように扱っていけばよいか、専門の講師の先生から学びました。

PTA 評議員会・部保護者会総会では、こんなお話もさせていただきました・・・

部活動の地域移行について、ご心配されている保護者の方や生徒が多いということを受け、本校における令和5年度の部活動運営について、校長より口頭にて簡潔にお話をさせていただきました。来年度の運営については、概ね今年度（R4）と同様に部活動を行ってまいります。その際、部活動の教育的意義を踏まえて、これまでの練習等の積み重ねが発揮できるように配慮しつつ、任意加入にも柔軟に対応したいと考えています。ご心配なことがあれば、遠慮なく学校までご相談をいただきたいと思います。また、地域移行についても、今後三年程度の期間で協議・検討を行ってまいります。まだまだ、不透明な面もありますが、部活動の良さを十分に生かせるように取り組んでまいります。

生徒会主催「トルコ・シリア大地震」義援金のご協力 大変ありがとうございました！



この度、山形新聞にも取り上げられましたが、「トルコ・シリア大地震」で被災された方々に手を差し伸べようと、生徒会が主催となって義援金募集を行いました。

道徳の授業の学びから、この取組みに発展したことを聞き、改めて宮中生の行動力と成長をとても嬉しく思いました。

生徒の皆さんのたくさんの善意が寄せられただけでなく、授業参観等があった24日には保護者の方々からもさらにご協力いただきました。今後、関係機関を通じて、被災された方々に届くようにしてまいります。皆様のご理解とご協力に感謝を申し上げます。

令和5年3月の主な予定

- 3日(金):判定職員会議
- 7日(火):公立高等学校一般入試
:1,2年生実力テスト
:教育後援会事務局会
- 10日(金):教育後援会総会
- 12日(日):公立高等学校一般入試(追検査)
- 15日(水):修了式
:同窓会入会式
- 16日(木):第13回卒業証書授与式
※感染症防止のため、教育長様・校区内議員様・教育後援会長様・同窓会長様・学校運営協議会委員長様・PTA会長様のみのご来賓とさせていただきます。
- 17日(金):公立高等学校合格発表
- 22~23日:生徒会リーダー研修会
- 27日(月):お別れの会(離任式)

宮中校区児童生徒連絡協議会が行われました・・・

2月20日(月)、今年度2回目の「宮中校区児童生徒連絡協議会」がオンラインにて行われました。宮中生徒会だけでなく、荻小、漆山小、宮小の児童会のこれまでの活動を振り返りつつ、令和5年度の方向性を共有しました。

そこで、令和5年度の宮中校区のスローガンを「全員が笑顔満点 宮中校区」と決議しそれぞれの学校で取り組んでいくことを確認しあいました。

校区の児童生徒が、同じ目標に向かって、笑顔が花咲く地域になることが楽しみです。



【校長の独り言・・・】

吾妻嶺は 南に秀で
吉野川 瀬の音清し
風わたる 豊稔の地に
相寄り 真理を求め
心ひろく 共に学ぼう
わが学び舎に 英知かがやく

本校校歌一番の歌詞です。

この二月に旅立たれた故牧野房様が、平成二十四年に作詞してくださいました。

中学校再編整備によって一つの学び舎で切磋琢磨する宮内、吉野、漆山の生徒の心身の成長を願い、故郷の美しい情景を散りばめた校歌を私たちに授けてくださいました。

当時、牧野様は、このようにも綴ってくださいしています。(直筆にて残されています。)

「中学校で学び出会った人々の恩恵と、うるわしい故郷を生涯忘れることなく、大切に思う心を主題としました。

やさしい表現でありながら格調を保つように心掛けました。

二十一世紀の未来を担う生徒たちが、より健全に育ち、南陽市の発展に尽くすことを願って止みません。・・・と記されてありました。

牧野房様のご冥福をお祈り申し上げますとともに、宮中生がこの校歌を高らかに歌い上げる日常を楽しみにしたいと感じています。

